



本多氏入封四〇〇年記念

企画展

膳所藩と築城

築城から
幕末十一烈士事件まで



平成30年 3月3日(土) — 4月15日(日) 大津市歴史博物館

【開館時間】午前9時から午後5時(入場は午後4時30分まで)

【休館日】毎週月曜日、3月22日(木)

【主催】大津市・大津市教育委員会・大津市歴史博物館・ 京都新聞

【協力】膳所藩資料館 【後援】NHK大津放送局・ UTV放送・ radio

【観覧料】一般600円(480円) 高大生 300円(240円) 小中生200円(160円)

※()内は前売料、15名様以上の団体、大津市内在住の65歳以上の方、大津市内在住の障がい者の方と介護施設の方または要支援者の方の割引料金を示すものをご提示ください。
※前売料は、大津市観光案内所(JR大津駅-石川町駅-栗田駅前)、ローソンチケット(0120-750841)をはじめ、京阪神地区の主なプレイガイドで2月3日から3月20日まで発売。

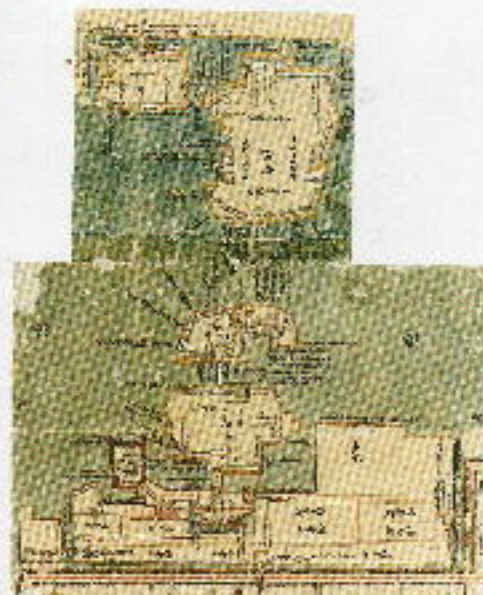
〒520-0037 大津市御陵町2-2 TEL.077-521-2100
<http://www.rekihaku.otsu.shiga.jp/>

企画展

膳所城と藩政



本多氏入封四〇〇年記念



滋賀県指定文化財 膳所城遺跡(膳所藩跡)の跡地
寛文2年(1662) 家康入封400周年

築城から幕末十一烈士事件まで



膳所藩主 本多氏家系図 江戸時代後期 膳所藩主 本多氏家系図



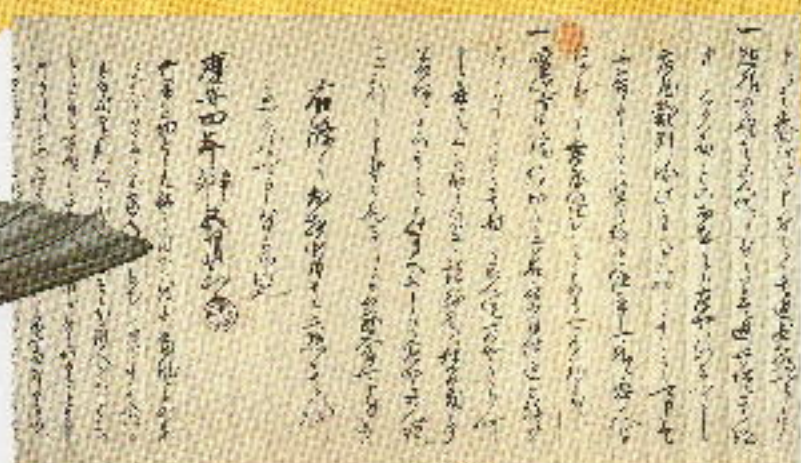
大津市指定文化財 膳所城跡 元禄15年(1702) 個人蔵

平成二九年(二〇一七)、本多康俊が膳所藩主となった元和三年(一六二七)から四〇〇年となる節目の年を迎えました。藩主は、康俊、俊次と続いて後、いったん菅沼氏、石川氏に代わりますが、慶安四年(一六五二)、本多俊次が藩主に再任されて以降、明治維新まで、本多氏が世襲しました。膳所藩は、江戸幕府にとって、畿内近国を抑える譜代大名として重要な役割をにない、また禁裏(京都御所)や京都の消防、交通の要地である瀬田川橋の修築などにもあたっていたのです。

本展では膳所城や城下町を描いた大絵図、藩主所用の具足、合戦のときの家臣陣の陣立図、幕末動乱のなかで処刑された十一烈士の遺品をはじめ、藩校義塾堂や膳所城に代表される教育や文化、領内農民の生活の様子などを、バラエティに富んだ資料の数々によって紹介します。



膳所藩主本多氏立御衣箱
寛文2年(1662)
江戸時代前期
本館蔵



膳所藩主本多氏立御衣箱 慶安4年(1651) 個人蔵



膳所藩主本多氏立御衣箱
寛文2年(1662)
大津市立瀬田小学校蔵



膳所藩主本多氏立御衣箱 江戸時代後期 膳所藩史料館蔵

【本展】
近江八景図巻、江戸時代後期 本館蔵、膳所藩主立御衣箱、江戸時代後期 膳所藩史料館蔵、膳所藩主立御衣箱、江戸時代後期 膳所藩史料館蔵、膳所藩主立御衣箱、江戸時代後期 膳所藩史料館蔵

企画展開催時間 時間はいつでも14時から15時30分(3月17日は午後半日) ※本展、本館中庭のあり、詳しくは大津市歴史博物館まで

3月10日(土)	幕末の悲劇 膳所十一烈士事件	堀川 修(本館職員)
3月17日(土)	現地見学 膳所城下町を歩く	堀川 修(本館職員)
3月24日(土)	膳所藩の飛地領支配	郡山 志保(神戸大学非常勤講師)
4月 7日(土)	膳所城と粟津晴嵐の景観について	稲谷賢一郎(本館職員)
4月14日(土)	膳所縁心寺文書を読む 藩主の菩提所とその史料	高橋 大樹(本館職員)



京阪東山線石山駅より徒歩5分 近江線西大津駅より徒歩15分 知事館裏庭 膳所藩史料館

大津市歴史博物館 〒520-0037 大津市御陵町2-2 TEL.077-521-2100 http://www.rekihaku.otsu.shiga.jp/